



整骨院 柔道整復とは？

あそ整骨院院長 江島弘樹

整骨院での施術を行う者は「柔道整復師」という国家資格を持っています。今回は、その柔道整復師という資格と、整骨院で行う柔道整復術についてご紹介します。奥が深い分野ですが、皆さんに少しでも知っていただければと思います。

まず、柔道整復師についてです。柔道整復師になるためには、厚生労働大臣の指定する柔道整復師養成施設で3年間勉強しなければなりません。養成施設では国家試験の科目以外にも様々な授業があり、特に柔道はかなりの熱の入れようです。国家試験の直前には柔道の実技試験も組み込まれています。(ちなみに私の得意技は内股と上四方固めです。)

そして、国家試験では解剖学、運動学、病理学、衛生学、一般臨床医学など計11科目を受験します。私は平成19年にこの資格を取得しました。

次に柔道整復術についてです。武道の柔道には「殺法」と「活法」というものがあります。

殺法

武技そのもので、柔術でいえば当身技・投技・絞技・関節技があります。オリンピックで目にした柔道競技は「殺法」にあたります。

活法

武道の柔術でも使われる技で、絞め技や投げ技



整骨院も水害の影響を受けましたが、この様に再開することができました。

＜診療日時＞
火～土曜日 9:00～18:00
※金曜日の18時～20時は予約制で診療します。
＜お問い合わせ＞
TEL:0967-32-5488

阿蘇温泉病院	0967-32-0881
桃花水	0967-32-5250
愛・ライフ内牧	0967-32-5511
春草苑	0967-32-4021
茶寿苑	0967-32-3055

愛・ライフ内牧 水害からの復活

今回はデイケアと栄養科に焦点をあて、どのように被災に対処し、復活したのかをご紹介します。

＜報告者：デイケア 渡邊 幹夫＞

1階フロアでは汚水が床上70cm余まで達し、デイケアでは一時中断を余儀なくされました。被災当日の午後3時頃からやっと人が入れるまでになり、復旧作業が始まりました。

初めは見たことも無い光景に職員みな唖然とし、汚水を外へ掻き出す事しか出来ず作業を続けていました。次第に職員各々が知恵を出し声を掛け合い作業に取り組み、デイケアでは7月23日から一部ではありましたが再開することが出来ました。ご入所・ご通所の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

今回の水害では、皆様からの励ましの言葉や物資、ボランティアなど、様々なご支援を賜り心よりお礼申し上げます。今尚、以前の設備環境とまではいかず、ご迷惑おかけしておりますが、職員一同精一杯頑張っておりますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



水害直後のリハビリとデイケアの様子。泥水が上がってきて物が散乱しているのがわかります。

＜報告者：栄養科 前田 竜子＞

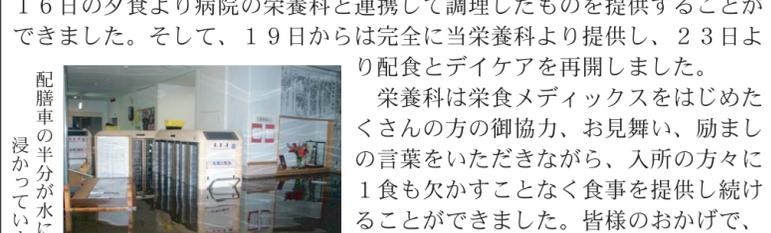
水害当日、早番の調理師1人が被災したため出勤できず、栄養士1人と調理師1人で食事を準備しているところ6時30分ごろより浸水し始めました。エレベーターが使用できなかったため、朝食は老健に避難してこられた住民の方5名にもお手伝いいただき、階段よりあげました。1階部分は70cmほど浸水し、ガス・水道は使用できなくなりました。

昼食は、非常食から使えるものを提供していきました。昼すぎには、委託業者(栄食メディックス)より応援が到着し掃除を開始しましたが、厨房では冷蔵庫が倒れ、食材はすべて使用できない状態でした。

夕食はパン、非常食(さば缶)、バナナで、入所者の方に『すみません、こんな食事』と話す『戦争の時に比べたら、大丈夫』と心強い言葉をいただき、大変ありがたかったです。

13日の朝食はガスと電気が使用できたのでスープを厨房で用意し、病棟にて配膳しました。非常食と外部からの弁当を利用しながら、どうにか16日の夕食より病院の栄養科と連携して調理したものを提供することができました。そして、19日からは完全に当栄養科より提供し、23日より配食とデイケアを再開しました。

栄養科は栄食メディックスをはじめたくさんの方の御協力、お見舞い、励ましの言葉をいただきながら、入所の方々に1食も欠かすことなく食事を提供し続けることができました。皆様のおかげで、復旧できたことに感謝します。



配膳車の半分が水に浸かっています。

坂梨会 基本理念
よりよき人間性を
よりよき環境を
よりよき医療を

「そとがき」とは外輪山を意味する古語です。

坂梨会ホームページアドレス <http://www.asospahp.jp/>



9月の診療予定

内科	18日(火) 松本先生 休診	歯科	15日(土) 21日(金)午後 28日(金) 29日(土)
整形外科	27日(木) 28日(金) 田崎先生 休診		
小児科	22日(土)が祝日のため 21日(金)に診療		

草村高森町長より表彰状を受け取る園児。緊張しています...

「来年は、もっといいものを出そう」と子供達より先生達の方が気合い入っていました。(文責 上野)

当院の併設託児所「くるみ幼稚園」の子供達は今回はじめて高森町湧水トンネル七夕まつりに作品を応募し、なんとアイデア賞を受賞しました。

63団体の展示作品から来場者の投票で決定されるもので、アニメキャラクター「ウサビッチ」をイメージした作品は、くまモン作品が多い中ひととき存在感がありました。

「食欲の秋は蓄えの秋?」

遙か昔、人間は冬の時期になると食べ物を探れなくなるため、春になるまでの間、生き延びるのに大変苦労しました。そのため体内にエネルギーを蓄えようと、本能的に食欲が湧いてしまうんだそうです。秋はサナマ、果物、新米...と美味しいものが溢れる季節ですが、食べ過ぎ、蓄え過ぎに気を付けて、美味しい秋を過ごしたいものですね。

阿蘇温泉病院 「秋祭り」開催します

●九月(二十一日) (金)
●十三時~十六時まで
●三階患者様食堂にて

7月に予定していた夏祭りが実施できませんでしたので「秋祭り」に代えて行います。射的などの懐かしい屋台や綿菓子などをご用意して皆様の参加をお待ちしています。ご家族様もぜひお越しください。

レストラン「グラスias」営業再開しました ぜひご利用ください

【営業時間】
月~金曜日 11時~19時
(オーダーストップは18:30)
【定休日】
土曜・日曜・祝日

編集後記

あちらこちらの田んぼで稲穂が頭を垂れてきて、いよいよ本格的な秋となりました。過ごしやすいになりましたが、朝晩の急な冷え込みには十分ご注意ください。(広報課)

この部署 この人 26回目

阿蘇温泉病院 リハビリテーション科 理学療法士 前田 笑

今回は、理学療法士の前田さんです。理学療法士(略称PT)は、医師からリハビリの処方が出た患者様に対し評価を行い、治療プログラムを立案し実施します。また、リハビリ中の患者様の様子をよく観察しカルテに記載するのも大事な仕事です。いつも笑顔が素敵なお前田PTに仕事する上での喜びや大変なことを聞いたところ、患者様に『ありがとう』や『痛くなくなった』と言ってもらえた時、そして患者様ができなかったことができるようになった時に喜びを感じるそうです。大変なことは、患者様やご家族の希望を考えながら患者様に必要なプログラムを考えることや患者様が行うのが難しい動作などがなぜできないのか、原因がどこにあるのかを考えることだそうです。

最後に今後の意気込みとして「勉強会や研修会にたくさん参加して、知識と技術を習得していきたいと思っています。そして、リハビリ室の他のPTのように、患者様にいつも笑顔で心に寄り添った対応ができるように心がけていきます。」と熱く語ってくれました。